

◎リーディングDXで取り組む具体的な内容

- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 ② 教育活動全体を通じた情報活用能力の育成
 ③ 動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業 端末持ち帰りによる家庭学習
 ④ 教員の働き方改革、校務DXの推進
 ⑤ 全国の学校現場が日々蓄積している優れた端末活用の事例から学び続ける
 ⑥ 実践内容についての地域内外への普及

プロジェクト	チーム	①~⑥で取り組めそうな番号	具体的な取り組み内容・計画	6月12日 進捗状況の記入をお願いしますm(_)_m	10月30日 進捗状況の記入をお願いしますm(_)_m
授業づくりPJ	学びあい活動充実チーム	①③④⑤⑥	①単元計画を見て、一単位時間の中で活用できる時間を計画し、ICT(ジャムボード等)を使って協働的に学ぶ。(最低条件として、学習指導要領に求められるものを確実に抑えながら) ①教師のコーディネート(時間、方法等)の研究 ③支援学級の生徒まずはアナログ、次に理解したら発展的に家庭学習で活用する。 ①支援学級の生徒 協働的な学びが苦手(班長として) 個別は得意。 ③家庭学習では活用できるが、それが見取りができる状況作り。(使い方提案)	単元によっては単位時間にはできるものがあるができないことがある。 各教科と一緒に使ってみるのなど取り組んでみるはどうか。各教科で。 基礎基本がしっかり押さえおかないとできない。 ・インターネットを操作することの何%が実習指導要領でもとめられているものなのか、はっきり理解できているのか。 ・試験にどのくらいつながるのか、時間が限られている中で何を求めていくのか。 ・知識の定着はどうのように保証するのか。 ・定着させるためにどうするのか。 ・ネット検索でまとめておきの評価は、検索技術が高い評価で、教科の評価といえるのか。 ・書くことの評価もあるので、ノートやワークシートに書くことも大切。 ※実際にはテスト勉強などはノートなど書いている生徒しか見当たらないのが実態としてある。 ◎小中の教員同士の話が必要である。 ◎各教科ごとに研究を進める。 (2学期ことは、教科でしか3学期生かせないことが多い。だから教科で様々な取り組んでいく。 ◎中学生は、使えるときに使うスタンス(有効な手段)としての研究はどうか。 ◎タブレットがどのような場面で活用できるのかの研究。	教科ではそれを使っている状況である。(教科をあわいで全員(生徒、教員含めて)どのようアプローチが使えるのかの研修等(朝のICTタイムなど)が必要ではないか、そうしないと、いつでも誰でも使えるアプリや学びとはならないのではないか。 ○スマートデバイスを軸の共通には効果的であった。文章も読もし、書いて、図などをそのまま画像で載せることができる。(理科) ○教科ごとの実習指導の側面に課題がある。(規定が必要か?自主性に任せせるのか?) ○実験操作の実験操作の事。日々見えるものでない上を使えないもので、肩ひじ張らぬ使いやすい方や研究が大切。 ○使うことだけ使っているのではなく、それをいつでも使いやすくしてほしい。 ○美術などは評議会は全部データで持ち歩かないでいいので便利。 ○内容が消えた時などトラブルがあつとき、どのように対応ができるなどのマニュアルがあればよいのではないか。 ○教科ごとにこのようなアプローチは使いやすいなどの紹介をし合う研修が必要だ。使ったシートなどを使ってみるなど。(ICT支援員さんと実際に使われている先生のペアなど)
	授業研究会チーム	①③	③家庭学習の内容(ドリル的なのか)→ワーク等もある中どのように活用するのか。 ⑤NHK for school 理科では活用できているが他教科ではどのような使い方ができるのか検討。	・バトンバシートをスプレッドシートで記入できるようにする。 ・視点をICTの効果と手び合いの効果について記入できるようにする。 ・授業を参考しながら、スプレッドシートに書きを記入する。研究会では、記入されたものを基に協議する。 ・研究会後は、PPTにして保存する。 ・小・中・大研に関わらず、研究の視点にフォーカスして話し合う。小研では、教科の特性も交えながら話し合う。	フォームのアンケート機能を使って選択式の前時の確認テストなどをしている。
	授業のICT推進チーム	⑤	⑤ジャムボードやkahoot!などの授業で活用できるサイトの一覧などを作成、先生方のいつでも見える場所に入れておく。上記のものを活用した授業などを活用しての感想や効果などを蓄積(フォームなど) ・家庭学習での活用事例などの紹介等もできるのでは→習慣作りとの絡み ・家庭学習の取り組みについてアンケートを行う(生徒に)		先生方の実践(スプレッドシートなどのリンク集を作成。 →まず、使えそうなソフトのマネから始める。 先生方のアンケートも実施と検討 →あまり使えていなかった上記のソフトのマネから初めて実践を重ねる⇒タブレットを使う機会を増やす。
土台づくりPJ	ハートフルタイムチーム		ハートフルタイムの年間の振り返りアンケート 学活などで使えるアイデアを情報共有	⑥. 7月分のハートフルタイムを検討 6/21 印刷準備 ①学年にも生徒アンケートを実施。学年ごとに ②先生方にもアンケートでクラスの様子を教えてもらいたい。	・人間関係作りでは、サイコロトークなど 他社問題をする内容が待たしい、と思えるものだった。 -75%の生徒はハートフルタイムに良い印象をもつている(アンケート結果より) -1-3では、ハートフルの振り返りを全員に書かせ、毎回教室掲示表をされている。 -あと4回実施。生徒へのアンケート1ヶ月実施後にて予定 -先生方へのご意見も集約したい簡単なアンケートを実施していただきたい
	校務のICT推進チーム	④	今後してみたいこと ・気になる個票をスプレッドシートにしたい ・運営委員会の記録などを印刷せずに、共有できるようにしたい ・健康観察をタブレットでできるようにしたい ・欠席した生徒への連絡や受け取れない授業の板書などをクラスルームで共有できるようにしたい ・通知表の所見をデータベース化できるようにしたい ・出席簿を印刷せずに、タブレットで記録できるようにしたい これまでにできたこと ・PTA総会の資料のPDF化 ・日報をクラスルームで共有できるようにした	○気になる個票(不登校対策委員会で提出する生徒の様子)をスプレッドシートにして 一ースプレッドシートの作成、誤ってデータ消去も出来ないようにならなければ ○運営委員会報道を学年職員のクラスルームにて実施している ○健康観察をクラスルームの課題)質問で実施できるのは? 出席確認はどこでも誰でも見られるので便利 ○授業中のデータベース化→授業担当者・生徒が写真を撮ってクラスルームにUp 貼る機能は作成してあります 欠席した生徒に(登録)送りたい ○通知表は文例集としてデータの蓄積をしたい	今後、取り組みたいこと 1.すべての学年で、各教科のグーグルクラスルームを作成している。しかし、準備物や単元テストなどの連絡がクラスルームで実施されていない状況がある。今後は、全学級で取り組むように呼びかけの文書を作成し、進めていきたい。 2.運営委員会スプレッドシートを作成したので、お試してやってみる。今後は、運営委員会や生活指導委員会でもスプレッドシートを作成して、やめてみる。 https://docs.google.com/spreadsheets/d/1lkz71byFkVn2kOgHdkq1Z7Y1pBMDD1pwdTmPKaWoedit?usp=sharing ※以下は、部会で話し合った結果実施しないことになりました。 ○健康観察フォーム https://forms.gle/2Qd6vYpEkNap9B1o9 ○健康観察スプレッドシート https://docs.google.com/spreadsheets/d/1DKIMHNFgQ4acrV6p8MXle-59vnA9_yxaXmzAAeQu/edit?usp=sharing

	ステップアップチーム	②④	②…タブレットを使って、ステップアップ大会を実施することで、情報活用能力の育成につなげる。④…採点の簡略化 昨年度教科によって成果にばらつきがあった。実施するのかどうか。5教科の先生に確認	理科の問題はテスト前の問題としては効果的で、朝自習も活用できた。 意欲的に取り組む生徒が多くいた。 満点者、各クラスの合格率を掲示していくあとは賞状を作成するのみ。 次の英語のステップアップ大会に向けて取り組みを進めていきたい。	【数学】 ・1年生：集団座学教室があつたため実施期日を変更したこともあり時間的に余裕があつた。よく囁きしている様子からかえで先生もからかいで取り組み状況が様子がわかった。教科担当からアドバイスなどもいたがるといい。 ・2年生：各クラスで取り組みが進み、それがクラスの合格率等にも影響したように思えた。 ・3年生：授業の中で生徒に取り組ませていた。生徒同士で教え合いを行つており、とても効果的だった。授業の中で取り組んでくださったのはありがたかった。教科担当で基点みや放課後に個別指導してくださった。 ・取り組む前に学習方法について指導するとより効果的に実施することができるのではないかと思う。
習慣づくりPJ	生徒会連携チーム	①	○授業改善や生活の向上、生徒同士の関係改善を目的 ・班長会議 もっと・はっと プロジェクト:生徒が分からぬを言える環境を 端迫先生 ・挨拶運動 翼先生 ・タブレットを使ったハートフルタイム 中山 ・全体会取りまとめ 竹隈先生 ・本中授業改善会議 授業アンケートは継続(中山準備・アンケートは翼先生に依頼)	・挨拶 試作品 生徒集会でお披露目 (挨拶待ってます運動) ・班長会議 班の声掛け ハンドサイン 紙で配布 18日・20日・21日:先生方への報道を ・ICTタイム 18日:実施可能 ・生徒集会 生徒会 挨拶 交通委員会 体育委員会 (金曜日昼休みに事前のチェック) ・7月1日 台湾 留学生 欽迎の事業 学校紹介 ・本中授業改善会議 入れられるところで挨拶	・合理的なスケジュールまで終り 練習試合 ・最後1ヶ月の取組をどうするか、朝自習の選択制 ・11月19日にPTA会員 ・挨拶 あと一歩 最後の1週間 「はっと・はっと」とハンドサインする機会がない ・タブレットの使い方 ・男女が自然に対話できるように ・卒業式に向けて全校生徒で15周年をお祝いできる企画を考えたい ・授業に関する意見を2学期中によると、その際にタブレットについての意見收集も行う
	家庭学習の改善 およびICT推進チーム	③	○充電器を持ち帰る→クラスに5本程度予備の充電器 ネット環境を整える ○家庭学習にタブレット上で取り組む→音声・動画の提出も可で効果的!→家庭学習の計画や取組をタブレット上で行う。スプレッドシート	自學を生徒同士でチェック 学習時間が減少している どのように学習時間を増やすか 学習時間が見えるようにタブレットで記入する方法はどうか 学習計画タイムなどできちんと時間とつけて	・学習計画タイムがとれない日が多く、定着しない→ 帰りの会の時間を15分確保し毎日計画する時間がとれるようになつた。 ・3年生は共通テスト対策として、クラスルームに問題をアップしたり、職員室前にプリントを準備したりして、進んで学習する生徒もできた。 ・タブレットでの学習計画、ノートでの学習計画など、効果的な方法を模索する。